

## 資料 2

地域振興会議資料

令和5年1月31日

担当課 地域振興課

### 気高地域学校統合に関する関係者会議からの報告書提出について

令和4年12月27日に気高地域学校統合に関する関係者会議（以後、「関係者会議」）より、別添のとおり「気高地域のまちづくりを見据えた統合新設校の設置場所等に関する意見について」が鳥取市教育委員会へ報告されました。

関係者会議では、気高地域の将来のまちづくりの方向性や、今後更に、児童・生徒数が減少した場合の義務教育学校への移行なども考えると、「JR 浜村駅南側の新規用地」が統合新設校の学校づくりを進めるうえで最適地だと結論付けられました。

今後、教育委員会では報告書の内容をふまえ、関係者との調整なども行ったうえで、学校種と設置位置に関する方針を決定する予定です。

令和4年12月27日

鳥取市教育委員会

教育長 尾室 高志 様

気高地域学校統合に関する関係者会議

会長 河根 裕二

気高地域のまちづくりを見据えた統合新設校の  
設置場所等に関する意見について

日頃から、気高地域の学校教育、まちづくりにご尽力いただき感謝申し上げます。  
気高地域の統合新設校の設置場所等に関する意見を本会議で下記のとおり取りまとめ  
ましたので、ご報告いたします。

記

1. 統合新設校の位置について

位置については、気高地域学校統合準備委員会の検討結果である「JR 浜村駅南側周  
辺の新規用地で新しい学校づくりを進めていただきたい」という意見でまとまりまし  
た。

「鳥取市都市計画マスタープラン」では、地域の核となる駅や総合支所周辺を気高  
地域の地域生活拠点と位置づけし、そのエリアの中心地として必要な集会機能、子育  
て機能、教育機能、文化機能などの確保を図り、都市機能を集積させる方針を示して  
います。

この場所は、地域の核となる JR 浜村駅や気高町総合支所に近いことはもとより、  
鳥取西道路へのアクセスが容易で、気高町コミュニティセンター、ゆうゆう健康館け  
たか、気高町総合福祉センター、気高町農業者トレーニングセンターなどの施設が集  
まっており、気高地域の地域生活拠点といえる場所と考えています。

また、学校と地域の連携の重要性が増す中、利便性が高く、気高の地域住民が集まりやすい場所に学校を建設することは、「地域に開かれた学校づくり」を推進し、「学校を核とした地域づくり」の実現にも資すると考えます。

防災面では、気高町総合支所等の防災拠点から近くなることで災害時の連携が強化されるとともに、防災対応、減災機能に対応した施設及び周辺道路の整備もしていただくことで避難所としても安心・安全が確保できる学校となるものと考えます。県の事業である浜村川の改修や勝見川放水路計画の進捗により浸水の危険性も大幅に減少できるとのことで、さらに安全性が高まると伺っています。

このように気高地域の将来のまちづくりの方向性や、今後更に、児童・生徒数が減少した場合の義務教育学校への移行なども考えると、「JR 浜村駅南側の新規用地」が統合新設校の学校づくりを進めるうえで最適地であるといえます。

## 2. 統合新設校の整備にあたって

新しく学校を整備するにあたっては、気高地域にふさわしい教育・文化施設等の複合化、共用化の検討をしていただくとともに、新しい学校づくりに地域の多様な世代の意見も反映できるような機会を設けていただくよう要望いたします。

また、学校施設の防災機能の充実、通学路などの安全確保の方策、スクールバスの設置による児童の通学・移動手段の確保などの教育環境の充実についても検討していただくようお願いいたします。

最後になりますが、出で湯「浜村温泉」が湧き、秀峰「鷲峰山」を南に望み、豊かな田園風景が広がるこの候補地での学校づくりは、住民と行政が協働して取り組むことにより、地域の力と誇りを高め、魅力的で創造力あふれた気高町のまちづくりに寄与するものと確信しています。そして気高地域の統合新設校の整備事業が鳥取市及び鳥取県、ひいては全国のモデルケースとなるよう、地域一体型の特色ある学校づくりを喫緊に実現していただきますよう強くお願いいたします。